



シンフォニー

特集 わたしたちにできること
～子どもの人権を守るために～
第17回郡山市男女共同参画フェスティバル
お知らせ

P2～5

P6～7

P8

VOL. **50**
2019
Spring



セーフコミュニティ郡山
2018.2.2 国際認証取得

シンフォニー（交響曲）には、みんなの声を響き合わせたいという想いが込められています。

わたしたちにできること

子どもの人権を守るために

「子どもが虐待によって命を落とした」「子どもが学校でのいじめを苦にして自殺した」「皆さんも、これらの言葉をメディア等で耳にすることが増えていると感じませんか？」
わたしたちに何かできることがなかったのか、そんなことを考えたことはありませんか？



子どもたちを取り巻く環境

子どもたちを取り巻く環境は、めまぐるしく変化しています。

共働き世帯の増加、三世帯世帯の減少、地域付き合いの希薄化などにより、家族や地域の人のコミュニケーションが不足してきています。

また、高度情報化社会の進展により、スマートフォンやパソコンを利用する機会も増え、子どもたちも、それらを通して友人とのやりとりをする機会が増えています。

さらに、「LGBT」や「性的マイノリティ」という言葉も最近ではよく耳にするようになり、性の多様性への関心も高まっています。

こうした状況により、「悩みを相談したくても相談できない」、「家庭の中で虐待が起きていても地域の人や周囲の人が気付くことができない」、「インターネットなどの目に付きにくいところで人を傷つける行為等が行われる」、「子どもたちへの偏見や差別が起きる」など、「子どもの人権を脅かす事案が増加しています」。

子どもの人権侵害って？

「人権」は、誰もが生まれながらにして持っている権利であり、誰もが幸せに生きるための権利です。この権利は、日本国憲法で保障され、侵すことのできない永久の権利として認められています。

子ども一人一人の人間として最大限に尊重され、守られなければなりません。この権利が損なわれると、人権侵害に発展します。

いじめ

最近のいじめの形態として、身体への直接攻撃以外にも、仲間はずれ・無視（シカト）・相手が嫌がることをする・させるなどの心理的ダメージを与えるものが増えてきています。

また、子どももスマートフォンやパソコンを利用するようになり、メールやSNS、ネット掲示板等の目に付きにくいところでのいじめも増えています。

文部科学省の調査によると、いじめの認知件数は、平成29年度は全国の小学校、

中学校、高等学校、特別支援学校の合計で、41万件を超えており、過去5年間を見ても大幅に増加しています。

いじめの背景には、家庭や地域などの環境が複雑に絡み合った問題もありますが、その根底には、他人への思いやりやいたわりといった人権尊重の意識の欠如があると考えられます。

このことから、子どもたちが、お互いの異なる点を「個性」として尊重する気持ちを育てることが大切です。

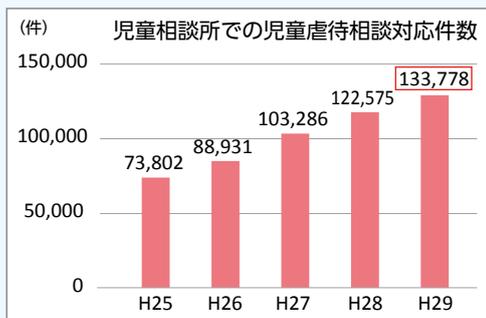
◆児童虐待

社会環境の変化により、児童相談所での児童虐待相談対応件数は増えており、厚生労働省の調査によると、平成29年度は13万件を超えています。

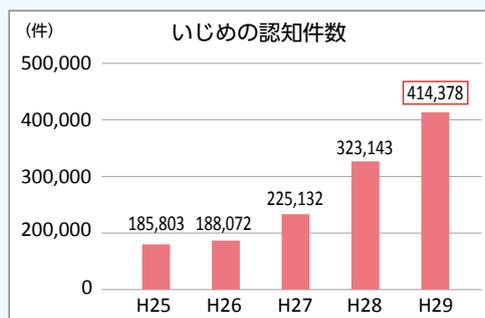
虐待は、家庭という密室の中で行われるため、発見しにくく、虐待者が親や同居者であるために、子どもは、自ら周囲に助けを求めたら、さらにひどい仕打ちを受ける、親に嫌われるという感情が働き、言い出せない場合が多いのです。

一方、親は、子育てや家庭の悩みやストレスなど様々な原因が絡み合い、悩み苦しんでいても、相談できる身内がない、地域とのつながりがほとんどない等、助けを求められず、周囲の協力が得られにくい場合がほとんどです。

このような方たちを孤立させないようするためにも、地域や関係機関のサポートが必要です。



厚生労働省「児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移」より作成



文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」より作成



あなたの周囲にこんな子はいませんか？

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- ・不自然な傷や打撲のあとがある
- ・衣類やからだがいっぱい汚れている
- ・落ち着きがなく乱暴である
- ・表情が乏しい、活気がない

など・・・

このような子がいたら、まずは、地域の関係機関に相談しましょう。

虐待かもと思ったら
(児童相談所全国共通ダイヤル)

いち はやく
189

子どもの安心・安全のために取り組んでいます！



本市では、2018年2月にWHOが推奨する「セーフコミュニティの国際認証」を取得し、地域住民、関係団体、市などが協働により安心・安全なまちづくりに取り組んでいます。

その中で、「こどもの安全対策委員会」において、児童虐待防止に向けた講座の実施や相談窓口の強化をはじめ、自宅における事故防止の啓発などに継続して取り組んでいます。



こどもの安全対策委員会

子どもたちが、安心して生活ができ、自立できるよう支援をしているNPO法人をご紹介します。

健康な心身と思いやり 強く生きる力を育む (命いぶく我が家)

「ファミリーホームいぶき」は、家庭の事情により親元を離れて暮らす子どもたちの家です。

ホーム長の仁井田さんは、保育所、児童養護施設での勤務経験の中で、郡山市にも、子どもたちが安心して暮らせる家庭が必要であるという強い思いがあり、当ホームを設立しました。

ホームの子どもたちは、学校や地域など、たくさんの方々に協力いただきながら、分け隔てない関わりの中で、自分らしく暮らしています。

子どもたちが、熟睡する、朝昼晩食事をとる、入浴するなど、当たり前のことができると生活にリズムがつき、自分に自信を持つことで表情が出せるようになることを仁井田さんはうれしく思っており、また、強く生きる力を持たせてあげたいと日々願いながら子どもたちと接しています。

これからは、地域の方が子どもに関する悩みなどを気軽に相談できる場所にしていきたいとおっしゃっていました。



NPO法人ファミリーホームいぶき
(小規模住居型児童養育事業)
ホーム長 仁井田 三枝子さん

◆インターネットによる人権侵害

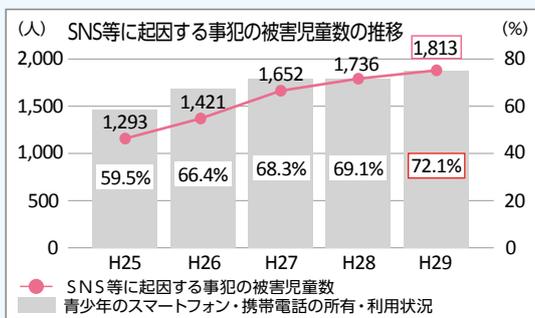
インターネットは、情報の収集や発信、コミュニケーションの手段として、私たちの生活を飛躍的に便利なものにしており、その普及率は高く、平成29年の青少年(10～17歳)におけるスマートフォン・携帯電話普及率は72.1%となっています。普及率の増加に伴い、SNS等に起因する事犯の被害児童数も年々増加傾向にあります。

ネット被害から子どもを守るために

私たちの生活を便利で豊かなものにしてくれるインターネットですが、知識やモラルが不十分だと、使い方次第では「加害者」にも「被害者」にもなる恐れがあります。一度発信した情報は完全に削除することが難しいので、日頃から、ネット上での情報収集や情報発信には責任を持ち、怪しいサイトにはアクセスしないなど、自分から危険に近づかないよう子どもに伝えることが大切です。

また、有害な情報から子どもたちを守る有効な手段として「フィルタリング」もあります。ぜひ、子どもの年齢や判断力に応じたフィルタリングサービスを利用しましょう。

※「青少年インターネット環境整備法」では、携帯電話の事業者は、青少年利用者に対してフィルタリング措置を行うことが義務付けられています。



警察庁「平成29年におけるSNS等に起因する被害児童の現状と対策について」より作成



べき子どもの権利

生きる権利



育つ権利



子どもの4つの権利



守られる権利



参加する権利

にわたしたちができること

意識できるよう、人が誰も生まれながらに持っているしょう。

求めてもよいということを伝えましょう。

できることから実践し、
を守っていきましょう。

SDGs(エスディーゼーズ)ってご存知ですか？

SDGsは、2015年に国連が決定した世界をより良くするための目標(持続可能な開発目標)です。SDGsでは、2030年までに達成する17のゴールを掲げており、その1つに、「10人や国の不平等をなくそう」があり、本市では、SDGsの理念に基づき、人権教室や人権啓発キャンペーンなどの人権尊重の意識を広める取組みを進めています。



福島県ユニセフ協会と包括連携協定を締結！

郡山市は、子どもが健やかに成長し、自立できる社会の実現のため、2019年3月4日、福島県ユニセフ協会と包括連携協定を締結しました。今後は、次の事項について連携事業を実施していきます。

- 1 「郡山市子ども条例」「児童の権利に関する条約」の理念の推進
- 2 SDGs及びセーフコミュニティの推進
- 3 ユニセフ事業の普及啓発
- 4 郡山市の情報発信



◆性的指向・性自認による偏見や差別

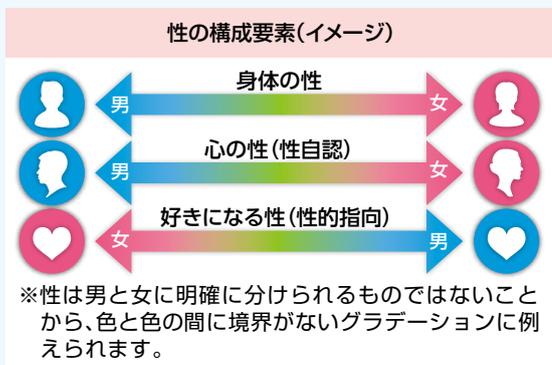
性の多様性への関心が高まってきたことで、学校や家庭における子どもたちへの対応も重要になってきています。

皆さんは「性的マイノリティ」という言葉をご存知ですか？

性的マイノリティは、何らかの意味で性のあり方が大多数の人とは異なる方々のことをいいます。私たちは、性を「男性」「女性」という2つの枠組みで考えがちですが、性には、様々な構成要素があります。性を「身体の性」、「心の性（性自認）」、「好きになる性（性的指向）」の3つの構成要素から考えてみると、「身体の性は男性だけど、心の性は女性」「身体の性は女性だけど、好きになる性も女性」など、その性のあり方は、人それぞれです。

性的マイノリティの子どもたちは、周囲の偏見を恐れ、性的マイノリティであることを隠してしまったり、また、周囲に知らせた（知られた）ことで孤立してしまうなど、いじめにあってしまうこともあります。

また、無意識に放った一言が、性的マイノリティの子どもたちを傷つけている場合もあります。自身の「性」に悩む子どもたちが安心して生活するためには、多様な性に対する周囲の正しい理解が必要です。まずは、知ること、理解することから始めましょう。



他にも性的マイノリティを表す言葉の一つに、「LGBT」という言葉があるよ。

- L** レズビアン(女性同性愛者)
- G** ゲイ(男性同性愛者)
- B** バイセクシュアル(両性愛者)
- T** トランスジェンダー(身体の性と心の性が一致しないため、身体の性に違和感を持つ人)

郡山市イメージキャラクター ぐくとくん

性の多様性について、詳しくはこちらから！



子どもの人権意識を育む取り組みとして、市や国等の関係機関が連携し、次のような取り組みも実施しています。

小・中学生へ「人権SOSミニレター」を配布

人権イメージキャラクター 人KEN まもる君

人KEN あゆみちゃん

啓発活動	
人権教室	相手への思いやりの心や命の尊さを学ぶことを目的とした教室です。
人権の花運動	花の種子等を協力して育てることで、優しさや思いやりの心を育むことを目的に実施しています。
相談体制の整備	
子どもの人権SOSミニレター	小・中学生に配布。手紙で相談できます。
電話相談	子どもの人権110番 (全国共通・無料通話) ☎ 0120-007-110
インターネットによる相談	子どもの人権SOS・eメール  http://www.jinken.go.jp/index.html

わたしたちが守る

「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」は、すべての子どもが等しく持っている権利とそれを実現すべきことが定められています。日本もこの条約に賛同し、守ることを約束しています。子どもの権利条約では、子どもの権利は大きく分けて4つあります。

郡山市は、この条約の精神にのっとり、子どもを第一に考えるまちづくりを推進することにより、子どもがすこやかに成長し、自立できる社会を実現することを目的として、2018年4月に「郡山市子ども条例」を施行しました。

子どもの権利を守るために、子どもに関わるすべての人が、この条約に書かれた権利が実現されるように取り組むことが必要です。

そして、子どもたち自身が、自分たちの権利について知り、学ぶことが大切です。

子どもの人権を守るため

- 子どもが自分自身をかけがいのない存在であることを「人権」について、わたしたち大人が子どもに教えま
- 自分の人権が侵害されたときに、周囲の人に助けを

わたしたち一人ひとりが、
みんなで子どもの人権

フェスティバル



福島県立あさか開成高等学校
「フラ・タヒチアンダンス同好会」
のオープニングアトラクション

男女共同参画推進事業者表彰



郡山市イメージ
キャラクター
がくとくん

本市では、女性の活躍推進や仕事と家庭の両立支援など、男女がともに働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。

今年度受賞されました3事業者の取組みをご紹介します。



(左から) 株式会社小松製作所郡山工場 様
福島コンピューターシステム株式会社 様
陸奥テックコンサルタント株式会社 様



取組みを紹介するパネルを展示しました！

受賞事業者の
詳しい取組み内容は
こちらから！



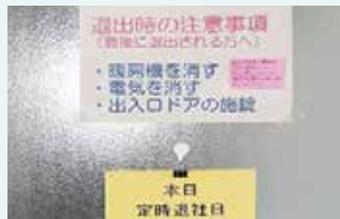
株式会社小松製作所 郡山工場

業種：製造業 従業員数：440人



私たちはこんな取組みをしています！

女性社員で構成する「なでしこプロジェクト」で、工場内の美化等女性目線での改善活動に取り組んでいます！



週3日の定時退社日を設けて、ワーク・ライフ・バランスを推進しています！

その他、福島県次世代育成支援企業認証取得、イクボス宣言、ワーク・ライフ・バランス大賞を受賞しています。

福島コンピューター システム株式会社

業種：情報通信業 従業員数：285人



私たちはこんな取組みをしています！

社員からの業務改善提案が活発で、予防接種費用補助や土曜日出勤を完全休日にするなど実現しました！



女性社員のキャリアアップ意識向上研修を実施しています！

その他、福島県次世代育成支援企業認証取得、イクボス宣言をしています。

陸奥テックコンサルタント 株式会社

業種：技術的サービス業 従業員数：85人



私たちはこんな取組みをしています！

ノー残業デーの実施や早朝出勤の奨励により、ワーク・ライフ・バランスを推進しています！



女性が少ない技術職場へ女性社員を配置し、女性の職域拡大を推進しています！

その他、福島県次世代育成支援企業認証取得、イクボス宣言をしています。

講演会「子育てを楽しもう」



講師 つるの 剛士さん(タレント)

つるのさんは、5人のお子さんがおり、2度の育児休業を経験されています。その育児休業の経験を交えながら子育てについて楽しくお話いただきました。

つるのさんが育児休業を初めて取った頃は、「イクメン」という言葉はなく、後になって、家事や育児をする男性を「イクメン」というようになったのですが、その言葉によって、世の中のパパたちに肩身が狭い思いをさせてしまっているのではという思いがあり、「イクメン」という言葉には、違和感を感じており、男性が育児をするのは当たり前、「イクメン」が当たり前の社会になってほしいと話されていました。

実際に育児休業を取ってみて、毎日、同じことが同じ時間にやってきて、妻は自分が仕事をしている間、こんなに大変なのだということを知ることができ、この体験によって、自分が妻の理解者となることができたことは、家庭にとって良いことだと感じているそうです。

つるのさんは、育児休業の期間は、男の家庭訓練の期間であり、家庭という基盤ができていなければ仕事もうまくいかないと考えているそうです。

育児は、「育てる」に「自分」の自で「育自」、教育は、共に育てるで「共育（共に育つ）」だと考えており、そのように子育てを楽しむつるのさんの考え方に、会場の皆さんは感銘を受けていました。

ふれあい発表会

さんかくプラザ活動団体
による舞踊・楽器演奏等



展示コーナー

さんかくプラザの活動団
体による成果発表・展示



男女共同参画作文コンクール優秀者表彰

がくとくんの妹
おんぶちゃん



自分らしく輝く夢や希望を見つめ、考えてもらうため、「10年後は？何をしているかな？」をテーマに作品を募集し、優秀者を表彰しました。



(前列左から)

優秀賞 渡辺 愛理さん (郡山ザベリオ学園中学校)

最優秀賞 関和 美稀さん (小原田中学校)

優秀賞 籬 妃奈乃さん (郡山ザベリオ学園中学校)

(後列左から)

優秀賞 石井 玲名さん (郡山女子大学附属高等学校)

最優秀賞 須田 陽菜さん (今泉女子専門学校高等課程)

受賞者の作文は
こちらから！



市民自主企画

市内で活動するグループの皆さんが、それぞれ企画した講座などを実施し、多くの市民の皆さんが参加しました。



母成峠の戦い



講演会「政治分野における
男女共同参画について考える」



エンジョイ！スクエアダンス



おしゃれ小物作りを楽しもう！



ルワンダ共和国訪問報告会



震災後、子どもたちはどのような
経験をしたのか？その問題と対策

男女共同参画審議会委員を募集します！～あなたの声をきかせてください～

市では、男女共同参画のまちづくりを推進するため、男女共同参画に関する基本的な考え方や取組状況等について幅広くご意見をいただくために、「男女共同参画審議会」の委員(任期2年)を募集します。

募集人数	2名程度	応募資格	次の要件をすべて満たす方(18歳以上)
募集期間	4/1(月)～4/24(水) ※最終日消印有効	①市内に引き続き1年以上住民登録し、居住している方	
選考方法	小論文と面接	②本市の他の附属機関等の委員になっていない方	
応募方法	直接持参するか、FAX、メール、郵送にてご応募ください。	③会議(年数回程度、平日開催)に出席できる方	
申し込み・問い合わせ	男女共同参画課 TEL.024-924-3351 FAX.024-921-1340 メール danjokyoudou@city.koriyama.lg.jp	④市税等を滞納していない方	
		⑤過去に男女共同参画審議会委員になったことがない方	



出前講座「さんかく教室」をぜひご利用ください！

「人権」や「男女共同参画」に関する専門講師を無料で派遣します。
多様な働き方や性的マイノリティなど様々なメニューを揃えて、皆さんの“学びたい”を応援します。

対象	市内在住・在勤・在学の方々を主体とした、おおむね10人以上のグループ。
会場	郡山市内のどこでも結構です。(会場手配、使用料負担はグループでお願いします。)
申し込み・問い合わせ	男女共同参画課 TEL.024-924-3351 FAX.024-921-1340 メール danjokyoudou@city.koriyama.lg.jp



メニュー内容はこちらからご覧ください。



※講師の日程調整が必要なため、講座開催予定日1カ月前までにお問い合わせください。

広告

未来を創る、ロハスエンジニアになろう！

日本大学工学部

土木工学科 建築学科 機械工学科

電気電子工学科 生命応用化学科 情報工学科



〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原 1

TEL 024-956-8600(代) FAX 024-956-8866

広告

オリジナルデザインで1枚から作成できます！

Tシャツ・横断幕・のぼり

オリジナルキーホルダー・マグカップ
名入ボールペン・フェイスタオルも承り中！



●紙・布地への印刷 ●広告の企画・制作 ●電子メディアを用いた販売促進

株式会社ヨシダコーポレーション

本社/〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1
TEL.(024)942-0005(代) FAX.(024)944-4501
URL <http://www.media-yoshida.co.jp>

広告

外壁・屋根 塗り替え



郡山市民の皆さま！

塗り替えで家族も住まもみんなHappy♪

一級建築士事務所登録 福島県知事許可(特-27)3429号
株式会社 郡山塗装 0120-316-336
郡山市喜久田町卸3丁目38-1 【電話受付】9:00～18:00(日・祝除く)

広告

— 持続可能な未来へ —

陸奥テックコンサルタント株式会社

代表取締役 伊藤 清郷

〒963-8011 福島県郡山市若葉町 17 番 18 号

TEL:024-922-2229(代) FAX:024-933-4138

支店: 仙台/相双 営業所: 会津/白河/いわき



この印刷物は、環境にやさしい FSC 認証紙と植物油インキ、UD フォントを使用しています。

紙ヘリサイクル可